



GAFAM マグニフィセント7への到達

令和6年12月18日

黒田インターナショナル コンサルティング LLC

黒田 毅

これらは理解の向上と先端性における製品の完成の実現である。これらは生産と開発という現実が時代性ととも飛躍し、その可能性を実現することなのである。

これらは技術進歩の吸収は、独自製品化と開発における製品基準の転換とともに、その価格アドバンテージとともに、グローバル市場における優位性と需要への企業構築を実現することなのである。

これらは経営における新しい視点において製品化と生産を要求されることである。これらは製造業における発想の完全な転換を要求され、それらは既存現実からの飛躍的向上を自己とする必要性を有するのである。

これらは明らかに可能性の実現であるため、新しい視点や発想を企業において要求されるものである。

また既存現実が10年後これら基準における企業経営へ移行することは容易に予測されるのである。またすべての産業分野においてこれら現実が現実とすることは必ず予測されるのである。

そのためトップランナーとしての自己構築は、未来という新しい要求にクリアすることに過ぎないのである。

これらはスティーブ・ジョブズが、分かりやすい。独自視点と理解における製品構築は、理解の拡大における可能性を自己とするのである。

これは独創性は理解の拡大という現実を要求することであり、それは底辺からの製品の向上と理解の拡大なのである。

これらは遅遅たる歩みにおける企業がその企業努力とともに自己を開花させることが可能であるということであり、技術進歩が時代に優れることはその製品に需要を大きく要求できるのである。